

## 【伊藤総領事メッセージ 2019 年 1 月】



オンタリオ州の皆様に、謹んで初春のお慶びを申し上げます。

旧年中は、在トロント日本国総領事館の業務への御理解と御協力をいただき、誠にありがとうございました。昨年はオンタリオ州内でも日加修好 90 周年を記念して様々な行事が一年間を通じて開催され、日本についての理解と親近感を少しでも高めることができたのではないかと思います。これらの行事に直接関与された皆様、また御来場いただいた皆様に改めて感謝申し上げます。

本年は、30 年ぶりとなる皇位の継承が 5 月 1 日に行われます。奇しくも 30 年前に昭和から平成へと時代が移行した際にも、私はカナダに勤務しており、日本国内における皇位継承を経験することはできませんでした。しかし、日本国と日本国民統合の象徴である天皇陛下について、カナダの人々に説明をする機会を得ることができました。今回も、皇太子殿下に皇位を譲られる日本の天皇陛下について、同じ立憲君主国家であるカナダの人々にお話しする機会を多く持つことができると考えています。

天皇皇后両陛下は 2009 年にカナダを御訪問されており、訪問地の一つであったトロントでも、日系文化会館やモミジ・ヘルス・ケア・センター、小児病院などを御視察されましたが、両陛下にお会いした方々からは、両陛下が優しくお声がけをくださったことに感激した方々から、その際のお話を伺うことが今でもあります。私自身も、トロントに着任する前には宮内庁の式武官の一人として両陛下のお近くでお仕える機会を賜り、元旦や天皇誕生日、園遊会での御様子や、日本へ国賓等をお迎えに



なる際の各種行事での御活躍の様子を間近に拝見させて頂きました。特に、2017年にベトナム及びタイにご訪問された際には、随員の一人として事前準備及び本番での同行をさせていただき、両陛下が全ての行事に全身全霊を込められ、日本を代表して友好親善に努められるお姿に本当に心を打たれました。また、随員の我々に対しても心配りをさせていただき、帰国後に労いのお言葉をかけていただいたことも貴重な思い出となっています。5月に即位される新天皇皇后両陛下にも、然るべき時期に是非カナダを御訪問いただきたいと強く願う次第です。



今年はまだ、日本がG20の議長国として、6月の大阪における首脳会議をはじめ様々なG20閣僚会議が日本各地で開催される予定です。平和と繁栄の問題を世界の主要国の代表と議論し、意見を取り進めていく上で、共通の価値観を有する日本とカナダが協力し、成功を収めていけるであろうことを確信しています。

さらに9月から11月にかけては、アジアで初めてとなるラグビーのワールドカップ大会が日本で開催されます。カナダチームもワールドカップへの出場が決まり、日本に行くことになりました。カナダと日本は予選リーグでは異なるグループに属していますが、両国ともトーナメント戦に立ち上がってくるように応援したいと思っています。



オンタリオ州では、昨年6月の総選挙で新しい政権が発足し、また10月には州内の全ての地方自治体でも首長及び議会議員の選挙が行われました。当館としても、今後4年間続くこととなる新しい体制の州政府・自治体政府に対し、日本との政治・経済関係のさらなる強化と相互理解の促進、友好協力関係の拡大を引き続き働きかけていく所存です。

昨年は、日本がオタワに公使館を設立してから90年目であるとして、日加修好90周年を記念した様々な行事が行われましたが、今年はカナダが東京に



公使館を設立して90周年にあたるこのことであり、引き続き90周年を記念した行事を実施・支援していくことになりました。民間の団体が自主的に実施するイベントであっても、一定の条件を満たせば日加修好90周年行事として認定されることとなり、90周年行事のカレンダーへの掲載や、総領事館員が挨拶に出かけることも可能となります。詳細は、当館ホームページで御確認ください。

本年も、当総領事館としての各種サービスの充実、日系企業支援、日本についての発信等に取り組んで参ります。皆様の御意見・御提案をいただきながら、精一杯職責を全うしていく所存ですので、どうぞよろしく願いいたします。

本年が皆様にとって、また日本とカナダ、日本とオンタリオ州にとって実り多い年となりますよう心より祈念申し上げ、新年の御挨拶とさせていただきます。